SDGs新聞	GREEN×EXPO 協会 （公益社団法人２０２７年国際園芸博覧会協会）

世界の自然を見に行こう！

SDGsラジオを読んでみよう！

世界にはどんな花や木があるのか、想像したことはありますか？
暑い国、寒い国、雨が多い国、砂漠の国。
場所が変わると、自然のようすや育つ植物、人々のくらし方もそれぞれちがいます。
横浜でひらかれる「GREEN×EXPO 2027」では、世界の国々の展示を通して、
いろんな自然や園芸文化にふれることができます。
たとえば、フィリピンの南国ならではの自然や、タイの自然と人が調和して生きる考え方、
ルクセンブルクのバラや園芸の歴史、アメリカの多様な植物を通して人をつなぐ展示など、
世界の植物や自然との向き合い方を知れるんですよ。
さらに、世界の熱帯林を守る「ITTO（アイティーティーオー）」という機関による、
森と人がともに生きることを考える展示も計画されています。
自然とともに生きる知恵は、国や地域によってさまざま。世界に目を向けることは、地球の未来を考える一歩です。
みなさんも、気になる国の植物や自然とのくらし方について、調べてみませんか？

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：国や地域によってちがう自然の環境や庭のイメージ

世界にはたくさんの国があり、一年中暑い場所や寒い場所、雨がいっぱい降る場所や日本のように四季がある場所など、気候や自然の環境はさまざまです。育つ花や木も、国や地域によってちがいます。横浜でひらかれる「GREEN×EXPO 2027」では、世界のさまざまな国が参加し、それぞれの国や地域で育まれてきた植物や、昔から受けつがれてきた園芸文化や農業、人々のくらしと自然とのつながりなどが紹介されます。それぞれの国・地域の植物の育て方や庭のつくり方などには、その土地の気候や歴史、人々が長い時間をかけて積み重ねてきた知恵や工夫がたくさんつまっています。世界のいろんな国・地域の植物との関わり方を知ることは、それぞれの土地で人々が自然とどう向き合ってきたのかを知ることにもつながります。

画像参照：ITTOの参加契約調印のようす（GREEN×EXPO協会プレスリリースより）

GREEN×EXPO 2027には、さまざまな国だけでなく、「国際機関」も参加します。国際機関とは、ひとつの国だけでは解決することが難しい問題に、いろいろな国が協力して取り組むための組織です。そのひとつが、世界の熱帯林を守る「ITTO（国際熱帯木材機関）」です。GREEN×EXPO 2027がひらかれる横浜に本部がある国際機関で、会場では「熱帯林と人がいっしょに生きていくこと」をテーマに、熱帯林をイメージした展示やさまざまなイベントが計画されています。ほかにも、農や食、まちづくりに関わる国際機関などが参加する予定です。それぞれの国や国際機関が自然とどのように向き合ってきたかを知ること、そして、異なる知恵や経験を持つ人々が国をこえて力を合わせることが、地球の自然と人々のくらしを守るための大きな力になります。

キーワード

園芸文化

植物を育てたり、庭をつくったり、見て楽しんだりと、くらしの中に花や緑を取り入れ、その美しさや心の豊かさを大切にしてきた文化のことです。

熱帯林

一年を通して気温が高く、雨が多い地域などに広がる森林のことです。たくさんの植物や生きものがくらしています。

ITTO（国際熱帯木材機関）

世界の国々と協力しながら、熱帯林を守り、木材を大切に使っていくための活動を進めている国際機関です。

対象ゴール

みなさんにできること！

気になる国の植物や自然とのくらし方について調べてみましょう。

おさらい

- 国や地域によって、育つ花や木も、その自然とともにくらす人々の知恵もちがう。
- GREEN×EXPO 2027では、世界のいろんな国の自然や園芸文化にふれることができる。
- 世界の自然や文化を知り、国をこえて力を合わせることが、地球の未来にとって大切。

メモ

SDGsラジオ